

申請時に提出する書類

書類提出日に記入するため、日付は記入しないでください。

令和 年 月 日

倉 敷 市 長 あて

(自署または記名押印)
〒 710-0833

アパート・マンションにお住まいの方は、
アパート・マンション名も記入してください

住所 倉敷市西中新田〇〇

申請者

自署の場合は
押印は不要です。

氏名 倉敷 太郎

電話 (〇〇 - 〇〇 - 〇〇)

雨水流出抑制施設設置補助金交付申請書

雨水流出抑制施設を設置したいので、倉敷市雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり補助金の交付を申請します。

1 補助事業名	倉敷市雨水流出抑制施設設置事業		
2 事業内容	① 小規模雨水流出抑制施設の設定	100L~500Lを設置→「1」に〇 500L~、浄化槽改造→「2」に〇	
	2 中規模雨水流出抑制施設の設定		
3 事業の目的	雨水の流出抑制による浸水被害の軽減及び水資源の有効利用		
4 設置場所	倉敷市 西中新田〇〇		
5 設置する施設の容量	□□□ L	貯留量を記入してください。	
6 工事に要する費用	〇〇, 〇〇〇 円(税抜)	見積額を記入してください。	
7 工事業者名	名 称	業者に依頼して設置される場合は記入してください。 (個人(申請者)で設置される場合は記入の必要ありません。)	
	所 在 地		
	代 表 者		
8 添付書類	1 位置図 2 配置図 3 構造図 4 見積書の写し又は工事に要する費用を明らかにする書類 5 承諾書 (必要ある場合) 6 着工前写真 7 その他		
9 受領方法	金融機関	<input type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 農業協同組合	預金種目 <input type="checkbox"/> 普通 (総合) <input type="checkbox"/> 当座
	店舗名	<input type="checkbox"/> 信用金庫 <input type="checkbox"/> ()	
	口座名義 (カタカナ)	*上記申請者名、請求書、委任状等と一致すること。	
10 確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でない		
	<input type="checkbox"/> 住宅金融支援機構の「【フラット35】地域連携型」を利用予定		

振込先の記入お願いいたします。

*この申請書で口座内容を記入された場合は、債権者登録申出書の提出は不要です。

申請時に提出する書類

書類提出日に記入するため、
日付は記入しないでください。

令和 年 月 日

倉 敷 市 長 あて

(自署または記名押印)

自署の場合は
押印は不要です。

土地又は建物所有者(代表) 住所 倉敷市西中新田〇〇

氏名 倉敷 花子

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

雨水流出抑制施設設置承諾書

雨水流出抑制施設の設置について、下記のことを了承し承諾します。

記

1. 雨水流出抑制施設設置場所

倉敷市 倉敷市西中新田〇〇 番地

2. 雨水流出抑制施設設置者

(自署または記名押印)

住所 倉敷市西中新田〇〇

氏名 倉敷 太郎

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

自署の場合は
押印は不要です。

3. 上記の土地の所有権を他に譲渡した場合は、その譲渡人に対しこの承諾内容を継承させ、市に迷惑がかからないようにします。

申請時に提出する書類

雨水流出抑制施設設置補助金の交付申請に関する誓約書及び同意書

雨水流出抑制施設設置補助金の交付申請にあたり、下記の誓約事項に誓約し、同意事項に同意いたします。

記

1 誓約事項

(1) 申請書及び提出書類の内容はすべて事実と相違ありません。

2 同意事項

(1) 本補助金の交付要件（下水道使用料、下水道事業受益者負担金、下水道事業分担金及び個人にかかる市税の完納）の調査を行うことに同意します。

(2) 消費税法に規定する課税事業者となり得る場合、本補助に関する課税状況等の調査を行うことに同意します。

(3) 暴力団員等でないことを確認するため、本申請に関する個人情報を岡山県警察本部その他関係機関に照会することに同意します。

倉 敷 市 長 あて

令和 年 月 日

**書類提出日に記入するため、
日付は記入しないでください。**

(自署または記名押印)

住 所 倉敷市西中新田〇〇

申請者

ふりがな くらしき たろう
氏 名 倉敷 太郎

**自署の場合は
押印は不要です。**

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

**市税の完納調査
に使用します。**

交付決定後、変更があった時に提出する書類

倉 敷 市 長 あて

書類提出日に記入するため、
日付は記入しないでください。

住 所 倉敷市西中新田〇〇

申請者 氏 名 倉敷 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

雨水流出抑制施設設置変更等承認申請書

令和 年 月 日付け 第 号で補助金交付決定を受けた下記の事業について、以下の承認を受けたいので、倉敷市雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱第9条第1項の規定により申請します。

1 補助事業名	倉敷市雨水流出抑制施設設置事業
2 事業内容	① 小規模雨水流出抑制施設の設置 2 中規模雨水流出抑制施設の設置 100L~500Lを設置の方は、「1」に〇をして下さい。
3 設置場所	倉敷市 西中新田〇〇
4 承認申請内容	1 施設設置に関する仕様変更 ② 施設設置に関する金額変更 3 施設設置事業の中止 4 その他 該当するものに〇をつけてください。
5 変更等の理由	例)見積りの時より安価で製品が入手できたため。
6 添付書類	1 変更に係る図面 2 変更金額のわかる書類 3 設置予定箇所の写真 4 その他
7 その他	中止する場合は、これまでに要した費用は、すべて申請者において負担します。

第 6 号 様 式

完了後に提出する書類

令和 年 月 日

倉 敷 市 長 あて

書類提出日に記入するため、
日付は記入しないでください。

住 所 倉敷市西中新田〇〇

申請者 氏 名 倉敷 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

雨水流出抑制施設設置実績報告書

令和 年 月 日付け 第 号で補助金交付決定を受けた下記の事業について完了したので、倉敷市雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱第10条により報告します。

1 補助事業名	倉敷市雨水流出抑制施設設置事業
2 事業内容	① 小規模雨水流出抑制施設の設置 2 中規模雨水流出抑制施設の設置 100L~500Lを設置の方は、「1」に〇をして下さい。
3 工事場所	倉敷市 西中新田〇〇
4 完了年月日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 設置完了日を記入してください。
5 施工業者名	名 称 所 業者に依頼して設置された場合は記入してください。 (個人(申請者)で設置された場合は記入は必要ありません。) 代 表 者 電話
6 添付書類	1 完了図面 2 申請者様の宛名入り領収書の写し 3 工事写真(作業中、完了後) 4 収支決算書及び工事費内訳書 5 その他

完了後に提出する書類

収 支 決 算 書

収 支 の 部

科 目	金 額	説 明
市補助金（予定）	〇〇, 〇〇〇円	決定通知書の金額を記入してください。①
自 己 資 金	〇〇, 〇〇〇円	②-①の金額を記入してください。
計	〇〇, 〇〇〇円	領収書のコличествоを記入してください。②

支 出 の 部

科 目	金 額	説 明
工 事 費	〇〇, 〇〇〇円	領収書のコличествоを記入してください。
消 費 税	込み	領収書で消費税込みのコличествоが記載されている場合は「込み」と記入してください。
計	〇〇, 〇〇〇円	領収書のコличествоを記入してください。

申請者 住 所 倉敷市西中新田〇〇

氏 名 倉敷 太郎

第 9 号 様 式

完了後に提出する書類

請 求 書

令和 年 月 日

倉敷市長 へ

下記金額を請求します。

住 所 倉敷市西中新田〇〇

押印は不要です。

法人名 倉敷 太郎
(氏名)

	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
請求金額					¥	〇	〇	〇	〇	〇

内訳 雨水流出抑制施設設置補助金

決定通知書の金額を記入してください。

雨水流出抑制施設の管理に関する協定書

申請者氏名を記入してください。

倉敷市（以下「甲」という。）と 倉敷 太郎（以下「乙」という。）は、雨水流出抑制施設（以下「流出抑制施設」という。）について、その機能を十分に発揮させることを目的とし、次のとおり管理に関する協定を締結する。

第1条 本協定の対象とする施設は、倉敷市雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱に基づく補助金の交付を受け、乙により設置された雨水流出抑制施設とする。

第2条 雨水流出抑制施設とは、雨水を一時的に貯留させるなどして雨水を流出抑制させる機能を有する施設をいい、具体的には施設の新設又は不要になった浄化槽を活用する等した貯留施設等の本体及び流入管、放流管、流量調整柵、排水ポンプ施設等の総体をいう。

第3条 乙は、流出抑制施設の機能を維持するため、設置目的を理解して維持管理を行い、それに要する費用を負担するものとする。

2 特に、乙は、ます及び排水口等の通常の点検及び清掃に努めるものとする。

第4条 甲は、必要に応じて流出抑制施設の点検を行い、指導・助言するものとし、乙はこれに協力するものとする。

第5条 乙が設置した流出抑制施設の変形、破損及び浮き上がり等又は流出抑制施設の異常からその他のものに事故、問題等が生じて甲は、その責を負わない。

第6条 乙は、流出抑制施設が廃止されない限りにおいて、その施設を存続させ、その保全に努めなければならない。

2 乙は、流出抑制施設を第三者に譲渡するときは、後継管理者から所定の雨水流出抑制施設継承届を提出させなければならない。

第7条 この協定に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、甲、乙両者が協議し、決定するものとする。

第8条 この協定の有効期間は、この協定の締結の日から雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱第16条第2項の規定により、雨水流出抑制施設の財産処分のお知らせを受けた日までとする。

この協定の証として、本協定書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和 年 月 日

書類提出日に記入するため、日付は記入しないでください。

甲 倉敷市西中新田640番地
倉敷市
倉敷市長 伊 東 香 織

(自署または記名押印)

乙 倉敷市西中新田〇〇
倉敷 太郎

この書類は原本が2枚必要です。

自署の場合は押印は不要です。